MBP-C

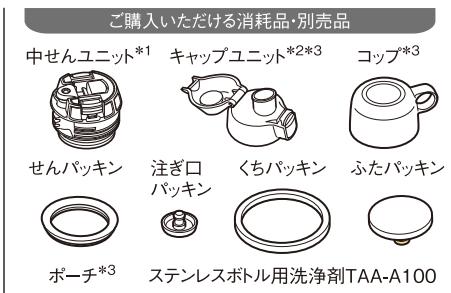
仕様

サイズ	0.5タイプ	
ユニット	中せんユニット	キャップユニット
実容量	0.5L	0.54L
保温効力 6時間	73度以上	ー
保温効力 24時間	45度以上	ー
保冷効力(6時間)	8度以下	8度以下
外形寸法 *1 *2	幅6.9×奥行8.7×高さ21.5cm	幅6.9×奥行7.7×高さ22.6cm
質量 *1 *3	0.32kg	0.30kg

*1おおよその数値です。*2ポーチを含まない数値です。
*3ポーチを含む数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を中せんユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから24時間及び6時間放置した場合におけるその湯の温度です。
※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を中せんユニット及びキャップユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。
※実容量とは、製品付属の中せんユニット、キャップユニットをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

消耗品・別売品のお買い求めについて

中せんユニット・キャップユニット・パッキンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるためご使用にともない傷んでくる場合があります。)
1年を目安にご確認ください。汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。
●お買い上げの販売店
●タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
●消耗品・別売品のご購入専用ホームページ
http://www.tiger.jp/shop.html
*1 せんパッキン・注ぎ口パッキンつきです。
*2 ふたパッキン・くちパッキンつきです。
*3 製品の色柄により異なります。
品番・色柄をご確認の上、ご注文ください。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.14をご覧になりお調べください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名②品番(本体底面にシール表示)③製品の状況(できるだけ詳しく)④購入日
また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。
※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570-011101
有料でご案内させていただいております。

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
TEL (06) 6906-2121

●受付時間 AM9:00〜PM5:00 月曜日〜金曜日 (祝日・弊社休業日を除きます。)

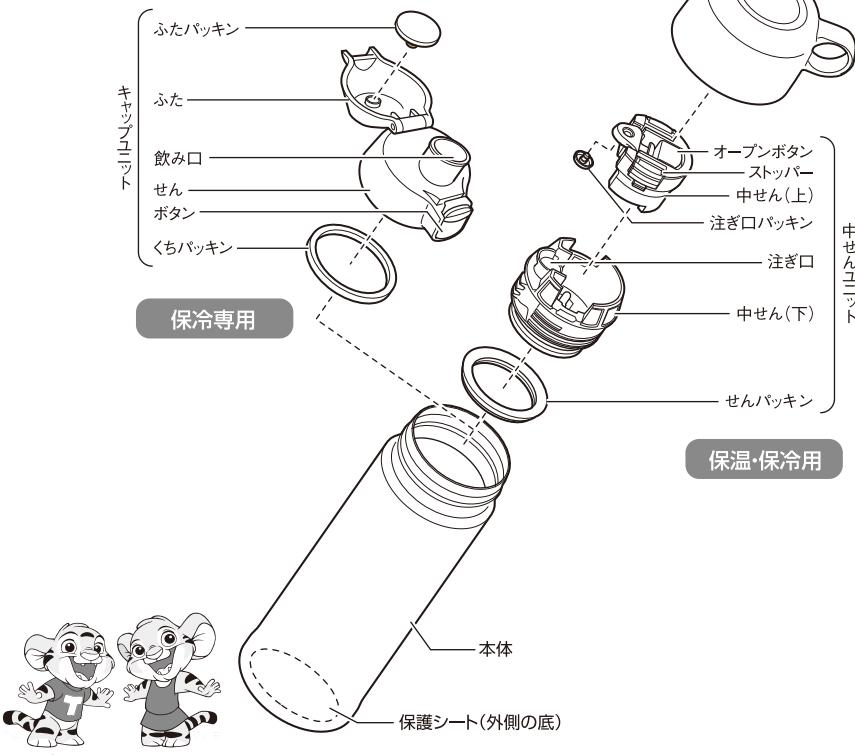
※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス **http://www.tiger.jp/**

品番
MBP-C 型

ステンレスミニボトル SAHARA
サハラ ポーチつき

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

安全上のご注意

本体に貼ってある底のシールは、はがさないでください。

SAHARA

けがややけどの原因となる、特にお守りいただきたい内容です。

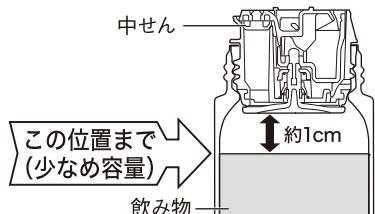
乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。
やけどやけがなどのおそれ。

中せんユニット・キャップユニットは、確実にしめ、ロックされていることを確認する。
内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。

ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。
本体内部の内圧が上がり、中せんユニットやふたがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、中せんユニットやキャップユニットが破損して、飛散する可能性があり危険。

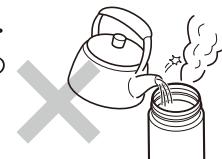
牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。
腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生し、本体内部の内圧が上がり、中せんユニットやふたがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、中せんユニットやキャップユニットが破損して、飛散する可能性があり危険。

飲み物の量は、図の位置までにする。
入れすぎると、オープンボタンがかたくなったり、もれたり、あふれたりして、やけどのおそれ。

中せんユニットの場合

キャップユニットの場合

コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。
やけど・変形・変色の原因。

電子レンジで加熱しない。
火花が飛んで、けが・故障の原因。

肩部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。
転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。

自動車走行中は使わない。
やけど・車内や衣服を汚す原因。（また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。）

保温性能が低下したときは使用しない。
熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

缶ホルダーで使うとき

缶ホルダーを使うときは、あらかじめ強度を確認してから使う。
強度が充分でない場合、ホルダーがはずれたり破損して、やけど・車内や衣服を汚す原因。

市販の缶ホルダーは、据え置き型を使う。
ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型で使うと、ホルダーがはずれて、やけど・車内や衣服を汚す原因。

中せんユニットを使うとき

熱いものを入れた場合は、必ずコップを使って飲む。
本体から直接飲むとやけどなどのおそれ。（断熱効果により、熱いものを入れても外側は熱くなりません。）

本体を傾けた状態や顔などを近づけた状態で、オープンボタンを押さない。
熱湯が勢いよく出て、やけどのおそれ。

コップに注ぐときは、本体を急に傾けない。
急に傾けると、飲み物が急激に出て、やけどなどのおそれ。

キャップユニットを使うとき

熱いものを入れない。
やけどのおそれ。

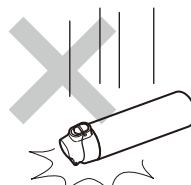
飲み物は、できるだけ早く飲みきる。
長時間放置した場合、腐敗によりガスが発生し、本体内部の内圧が上がり、ふたがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、キャップユニットが破損して、飛散する可能性があり危険。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。
腐敗・変質・サビのおそれ。

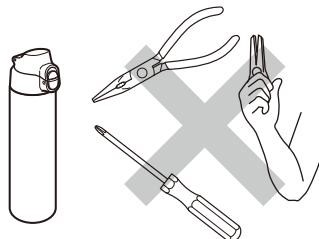
お茶の葉・果肉などは入れない。
目づまりし、もれるおそれ。

飲み物の保温・保冷以外に使わない。

冷凍庫に入れない。
内容物がもれたり、破損のおそれ。

倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。
破損・保温（保冷）効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。

塩素系漂白剤は使わない。
サビたり、穴があく原因。

スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。
外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。

分解・修理はしない。
故障や事故の原因。

ポーチのベルトを持って振りまわさない。
人や物にあたって、けがや破損のおそれ。

本体外側が濡れている状態で、ポーチに入れない。
サビやにおいの原因。

ポーチは濡れたまま使わない。
衣服などに色移りするおそれ。

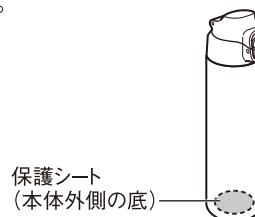
ポーチには塩素系、酸素系漂白剤を使わない。
色落ち・変色・退色の原因。

ポーチが縮むおそれがあるので、衣類乾燥機は使わない。

本体の横置きはしない。
内容物がもれる原因。

かばんや袋に入れたまま放置しない。
周囲の環境（湿度・塩分）などにより、サビ・においの原因。

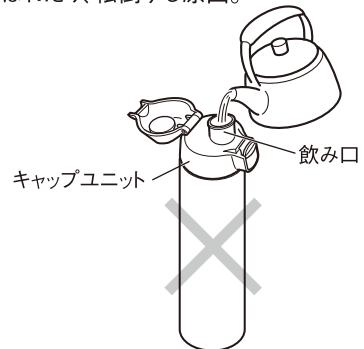
かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
横にするともれるおそれ。

本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。
はがすと、保温（保冷）効果が低下するおそれ。

本体の柄やシールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。
はがれる原因。

中せんユニットを使うとき

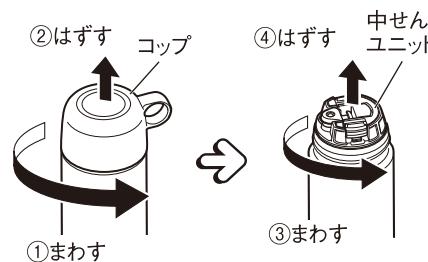
注ぎ終わったら、本体を立てた状態にして、必ず注ぎ口を閉じてコップをしめる。
内容物がもれるおそれ。

キャップユニットを使うとき

キャップユニットをセットした状態で飲み口から飲み物を入れない。
こぼれたり、転倒する原因。

氷を入れると本体の内圧が下がり、ふたをあけたときにふたパッキンがはずれることがあるので、その場合はもとの位置につけなおす。
➡P.13

1

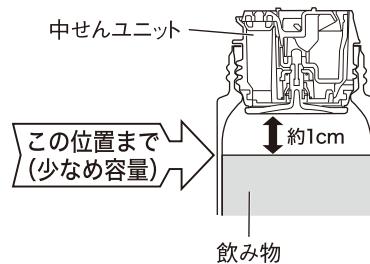
コップ・中せんユニットをはずす。

●本体内側・中せんユニット・コップをお手入れする。➡P.11
●注ぎ口パッキン、せんパッキンがついていることを確認する。➡P.11・12

2

保温（保冷）効果を高めたいときは、
少量の熱湯（冷水）を入れ、1～2分予熱（予冷）する。
予熱（予冷）後は、お湯（水）をすてる。

3

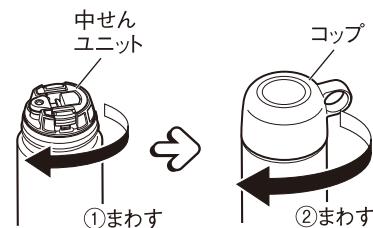
熱い（冷たい）飲み物を入れる。

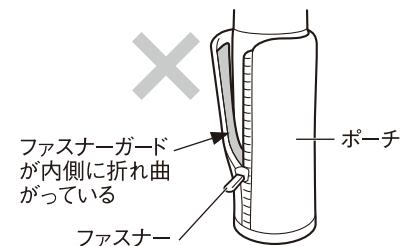
●飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
●大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。
●熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。お茶のときは、中せんユニットが目づまりするおそれがありますので、ティーバッグなどをおすすめします。

本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。

4

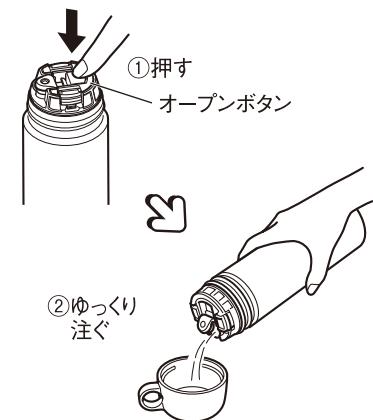
中せんユニット・コップをしめる。

●中せんユニット・コップがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

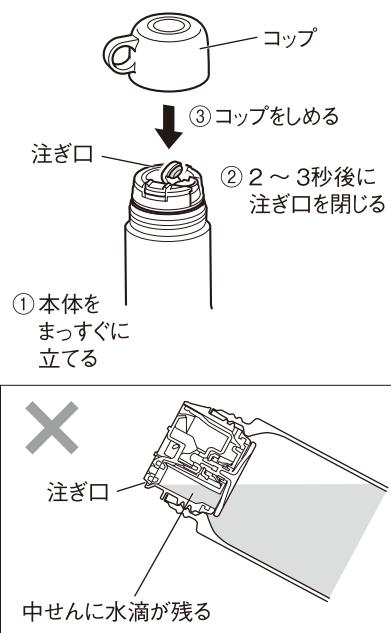
5

本体をポーチに入れる。

ファスナーをしめるときは、ファスナーガードが折れ曲がっていないことを確認する。
本体に傷がつくおそれ。

6

コップをはずし、オープンボタンを押してから本体を傾けて、飲み物を注ぐ。

●本体をふらない。
●本体を傾けた状態でオープンボタンを押さない。
熱い飲み物が勢いよく出て、やけどのおそれ。
●本体を急に傾けずにゆっくり注ぐ。

注ぎ終わったら、
必ず本体をまっすぐに立てて、
2〜3秒後に注ぎ口を閉じてから
コップをしめる。

コップの内側に残った「水滴」を振り切り、よくふいてからしめる。

- 本体を傾けた状態で注ぎ口を閉じない。
  中せんユニットの内部に少量の「水滴」が残り、持ち運ぶときなどに水滴がもれるおそれ。
- かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
  横にすると、もれるおそれ。

キャップユニットの使いかた

1

コップ・中せんユニットをはずす。➡P.5

- 本体内側・キャップユニットをお手入れする。➡P.11
- ふたパッキン、くちパッキンがついていることを確認する。➡P.11・13

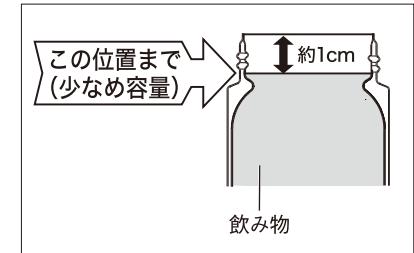
2

保冷効果を高めたいときは、
少量の冷水を入れ、1〜2分予冷する。
予冷後は、水をすてる。

3

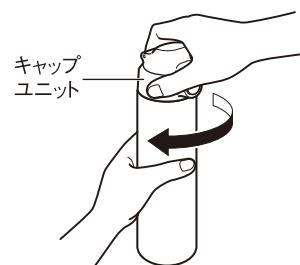
冷たい飲み物を入れる。

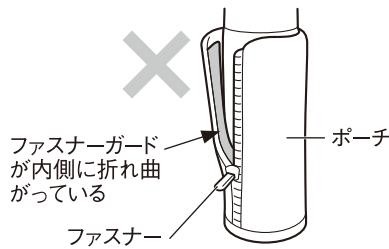
- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。

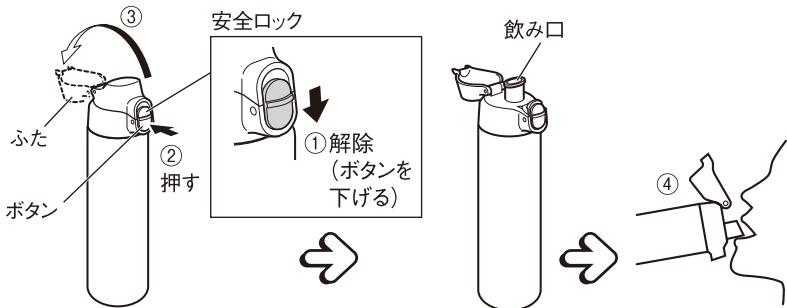
本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。

④

本体を立てた状態にして
キャップユニットをしめる。

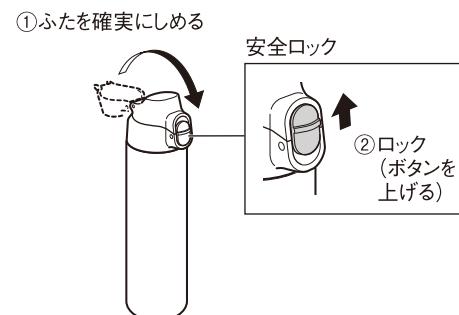
- ●キャップユニットがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。
- ●安全ロックを「ロック」にする。
  ➡P.10（⑦の項目）

⑤

本体をポーチに入れる。

ファスナーをしめるときは、ファスナーガードが折れ曲がっていないことを確認する。本体に傷がつくおそれ。

⑥

安全ロックを「解除」にして
ボタンを押し、ふたをあけて飲む。

⑦

飲み終わったら、
本体を立てた状態にして
ふたをしめ、安全ロックを
「ロック」にする。

- ●「カチッ」と音がして安全ロックが固定されるように、確実にしめる。

- ●持ち運ぶときは強い衝撃を与えない。安全ロックを「ロック」にしていても強い衝撃でふたがあくおそれ。
- ●かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
  横にすると、もれるおそれ。

◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れして、充分に乾燥させる。
◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
◆においを防ぐために、中せんユニット・キャップユニットをこまめにお手入れする。

本体

コップ

中せんユニット

中せん(上)　中せん(下)

(はずして洗う ➡ P.12)

注ぎ口パッキン　せんパッキン

(はずして洗う ➡ P.12)

キャップユニット

くちパッキン　ふたパッキン

(はずして洗う ➡ P.13)

①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で充分にすすぐ。
②本体外側は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。(ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビや他のものを汚す原因。)
③水分を充分に振り切り、乾燥させる。

ポーチ

ネット使用

ネットに入れ、洗濯機の手洗いコース、またはドライコースで洗い、よく乾燥させる。
※ポーチには塩素系、酸素系漂白剤を使わない。
※ポーチが縮むおそれがあるので、衣類乾燥機は使わない。

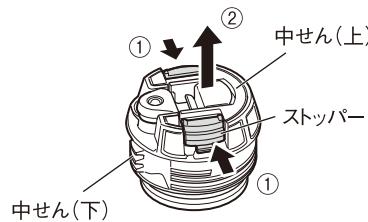
ご注意

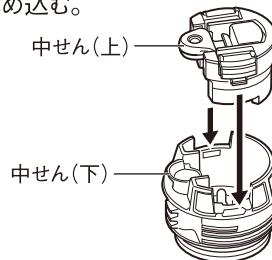
●本体・コップのつけおき洗いはしない。中せんユニット・キャップユニット・ポーチを本体につけたまま、本体を洗わない。
●シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
●食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。熱湯を使わない。
●パッキン類は必ず取りつける。➡ P.12・13
●長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

中せんユニットと各パッキンのはずしかた・つけかた

中せんユニットのはずしかた・つけかた

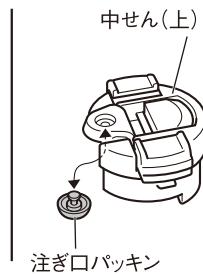
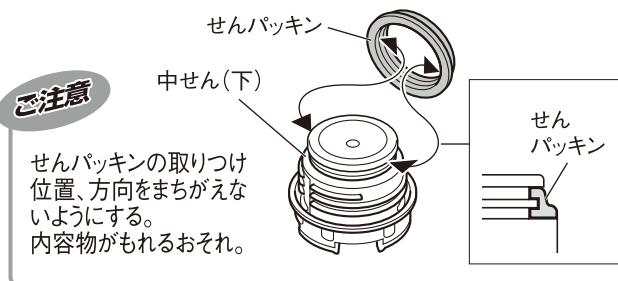
■はずしかた

中せん(上)のストッパーを押してはずす。

■つけかた

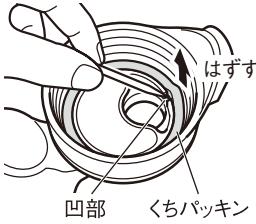
中せん(上)を中せん(下)に確実にはめ込む。

せんパッキン・注ぎ口パッキンのはずしかた・つけかた

つけるときは、奥まで確実にはめ込む。

ご注意

せんパッキンの取りつけ位置、方向をまちがえないようにする。
内容物がもれるおそれ。

キャップユニットの各パッキンのはずしかた・つけかた

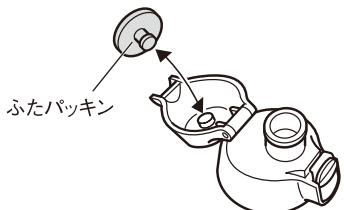
くちパッキンのはずしかた・つけかた

■はずしかた

先が細くやわらかい棒（つまようじなど）を凹部に差し込みはずす。（金串などは使わない。）

■つけかた

溝に確実にはめ込む。

ふたパッキンのはずしかた・つけかた

つけるときは、つける場所を間違えないように、奥まできっちりはめ込む。

本体内側に汚れが目立ってきたときは…

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をお勧めします。
①クエン酸（約 10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
②2 ～ 3 時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
③充分に乾燥させる。

「茶しぶ」や「コーヒー」の汚れなどの場合

汚れは飲み物などに含まれているタンニンや油脂成分によるものです。ステンレスボトル用洗浄剤 TAA-A100（別売品）のご使用をお勧めします。
◆品番 TAA-A100 10g×4包入り
お買い求めは、「消耗品・別売品のお買い求めについて」を参照してください。➡**裏表紙**

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
中せんユニットやキャップユニットから飲み物がもれる。	中せんユニットやキャップユニット・各パッキンが確実にセットされていますか。	確実にセットする。➡ P.6･9･12･13
	中せんユニットやキャップユニット・各パッキンが損傷していませんか。	損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。➡ **裏表紙**
	飲み物を入れすぎていませんか。	入れすぎないようにする。➡P.5･8
	本体を傾けた状態で注ぎ口を閉じていませんか。	注いだ後は、本体をまっすぐに立ててから、2～3秒後に注ぎ口を閉じる。
	中せんユニットのオープンボタンを押した状態で、コップをしめていませんか。	注ぎ口を閉じてから、コップをしめる。➡ P.7
	ふたが確実にしまっていますか。	確実にしめる。➡P.7･10
	食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸したり、熱湯を使っていませんか。➡ P.12	
	落としたり、強い衝撃を与えていませんか。➡ P.3	
オープンボタンが押せない。	飲み物を入れすぎていませんか。	無理に押さず、1度中せんユニットをはずして、飲み物を少量すてる。➡ P.1
	熱湯を入れて振動を加えると、オープンボタンがかたくて押せないことがあります。	1度中せんユニットをゆるめ、オープンボタンを押し、そのままして直す。
オープンボタンを押したときに「シュッ」と音がする。	空気が抜ける音で、異常ではありません。	
保温（保冷）が効いていない。	落としたり、強い衝撃を与えていませんか。➡ P.3	
	お手入れの際、本体の内側を強く押したり、金属たわし等を使用していませんか。➡ P.12	
	飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	
	寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	
ふたがあかない。	安全ロックを「ロック」にしていませんか。	安全ロックを「解除」にする。➡P.9
本体内側や中せんユニット・キャップユニットから異臭がする。	はじめて使うときは、材料特有のにおいがする場合があります。	「はじめて使うとき」を参照してお手入れする。➡ P.5･8･11～13
	汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしていませんか。	お手入れする。➡ P.11～13
	水道水に含まれるカルキ臭が残る場合があります。	
キャップユニットに水滴がつく。	製品の構造上、湿度が高いときに水滴がつく場合があります。	
本体を振ると「カシャカシャ」と音がする。	保温（保冷）効力を高めるために、本体内部に入れている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。	